

# オアシススケッチ

Oasis sketch

## ● 全国大会で昨年の雪辱を果たす



〈優勝報告をした愛知WEST主将の前田さん(右)〉

「第25回全日本古希軟式野球大会」で、4年ぶり2度目の優勝を果たした愛知WEST所属の前田洋さん(高根台)が、10月13日に町長に優勝を報告しました。愛知WESTは、初戦から決勝までの6試合全てで6点以上の差をつける快勝。決勝は、前回大会で負けた阪神ロイヤルズと対戦し、13対1の大差で雪辱を果たしました。

前田さんは「チームワークを大切に楽しく時に厳しく。連覇を目指すのみです」と来年の大会への目標を話しました。阿久比町からは前田さん以外に、加藤弘志さん(宮津山田)も参加しました。

## ● 日本の食糧事情について知る



〈特別講座の様子〉

南部小学校の土曜教室NGK(南部学習キッズ)で、JAあいち知多の榊原博之さんを講師に招いた特別講座が行われました。参加した3年生～6年生までの49人は、おにぎりやサラダ、果物など実際の食べ物を使って「食糧自給率」と「農業の大切さ」について学びました。

参加した児童は「日本の食糧自給率が39パーセントと聞いて驚いた。自給率を上げるためには、農業の大切さを多くの人に知ってもらえるように、今回のようなPRをもっとしていったらいいのでは」と感想を話しました。

## ● 海外派遣・海外生活体験で成長した子どもたち



〈学んだことを報告する子ども〉

夏休みにあった「小学生海外派遣事業」と「中学生海外家庭生活体験事業」の報告会が9月30日、オアシスセンターでありました。小学生は、事前学習会から現地での生活、帰国までの中から驚いたことや楽しかったことなどを発表しました。中学生は、出発前に設定した各自のテーマに沿って学んだことを、自分たちの生活と比べながら発表しました。発表後、町長や町議会議員、教育委員などから質問されても、自信をもって答える子どもたち。海外での体験や日本との違いなどを肌で感じて成長した姿を見せました。

## ● 戦没者を追悼し平和を祈る



〈献花台に花をささげる参列者〉

町主催の戦没者追悼式が10月1日、勤労福祉センター(エスペランス丸山)で行われました。遺族ら約80人が第二次世界大戦などで亡くなった町内の戦没者236人を追悼しました。町長は「過去の歴史を振り返り、謙虚に受け止め、風化させることなく語り継ぐことを誓います」と、遺族会長の青木秀二さん(萩)は「平和で豊かな生活が皆さんの犠牲の上にあることを忘れてはなりません」と追悼の言葉を述べました。最後に参列者は、菊の花を献花台にささげ、戦没者の冥福を祈りました。